

新年のご挨拶



新年あけまして、おめでとうございます。

NHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」は信楽を舞台にしています。「スカーレット」の意味は色の名前で、日本名では「緋色」で、信楽焼きの赤い色を表しています。

信楽といえば、何と言いましても、狸の置物ですね。

狸の置物は明治時代に陶芸家の藤原鏡造に作られたのが始まりですが、全国的に有名になったのは、昭和26年に昭和天皇が信楽に行幸された時、歓迎する人が少なかった為、沿道に狸の置物に国旗を持たせて、沢山並べ歓迎した様子を、当時のマスコミが大きく取り上げられたことでした。

狸は大きな目と腹、首を少し傾けた愛らしい様子はみんなの心を慰めているのではないのでしょうか。この姿かたちは「八相縁起」と呼ばれる縁起を表しています。

「八相縁起」とは、初めに、「笠」が思いがけない災難を避けるため、普段から準備をする、「大きな目」は周囲に気配りし、正しい判断ができること、「笑顔」はお互いに愛想よく、「徳利」人徳を身に着け、「通い通帳」信用が第一、「大きなお腹」冷静さと大胆さを持ち合わせ、「金袋」金運に恵まれ、「尾」何事もしっかりした終わり、の八つの縁起を表しています。

松樹会も、スタッフ一同、皆さんが「八相縁起」を身に着けられるように、対応させて頂きます。

そして、利用の皆さまは一人ひとりが日々楽しく暮らしていける、お手伝いができればと考えています。

今春には「(仮称) 地域密着型特別養護老人ホームいこいの里長尾」と「看護小規模多機能ホームながお」を中村病院の前に設立する予定にしています。

今年もスタッフ一同頑張ってまいります。

なにとぞ、よろしくお願い致します。

迎春 本年もよろしくお願い致します

松樹会	理事長 中村 猛	ケアハウス つくしんぼ 藤阪	施設長 坊 晃子
	理事 中村 敏子	グループホーム たんぼぼ 藤阪	管理者 竹之内 真一
	本部長 梶 河 英司	グループホーム たんぼぼ 田口	管理者 岩 崎 潤一
特別養護老人ホーム いこいの里	施設長(兼) 中村 敏子	デイサービスセンター いこいの里	副管理者 山 田 英津子
サテライトいこいの里		デイサービスセンター 長 尾	相談員 守 山 文子
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪	施設長 岡 崎 基	居宅介護支援センター つくしんぼ	管理者 森 恵美子
小規模多機能ホーム ふじ	管理者	障害福祉サービス ミルキーウェイ	管理者 山 田 公子
ケアハウス つくしんぼ長尾	施設長(兼) 梶 河 英司		

日本病院機能評価を受審して

中村病院 事務部長 松永 勝浩

4回目の病院機能評価は「リハビリテーション病院」で受審しました。(昨年11月25日、26日 受審)

受審を重ねていく中で、基本的な医療行為を安心安全に行う病院として、医療安全、感染対策、組織の機能等を客観的に確認していく事の大切さを実感しました。

受審継続が日々、医療に追われる現場の職員にとって改善のきっかけとなり、自信につながり成長にもつながり、改めてチーム医療の大切さを再確認する重要な機会となりました。

これからも「患者さんの視点に立って良質な医療を提供する為、一定の評価水準を満たした病院」として、更に信頼される医療を提供して参ります。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里	072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里	072-898-2197
サテライトいこいの里	072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪	072-868-2192
ケアハウス つくしんぼ長尾	072-868-2190
デイサービスセンター 長尾	072-868-2190
ケアハウス つくしんぼ藤阪	072-868-2191
グループホーム たんぼぼ藤阪	072-868-2197
グループホーム たんぼぼ田口	072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ	072-868-2193
居宅介護支援センター つくしんぼ	072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ	072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院	072-868-2071
中村記念クリニック	072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里	072-868-2072
サテライトなごみの里	072-818-2071
デイサービス 長尾の里	072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館	072-868-2727
グループホーム たんぼぼ長尾	072-868-2195
ケアプラザセンター なごみ	072-818-7533
訪問介護ステーション みどり	072-868-4392
地域包括支援センター みどり	072-845-2002
研修所 みどりの樹	0264-44-2550

編集後記

新年あけましておめでとうございます。季刊誌みどりの風新春号(第59号)を発行することとなりました。役員及び各病院、施設の責任者からの年頭の御挨拶をさせて頂いております。また2018年度枚方市公募2事業に引き続き2019年度申請の公募2事業も枚方市より選定され併せて4事業の施設運営の建設年度になります。ますます地域の皆様のご期待に添えるよう頑張っております。また「みどりの風」編集委員一同、これからもご期待に添えるような充実した紙面を目指します。本年もよろしく御指導・御鞭撻の程お願いいたします。みどりの風編集委員会 連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田

第59号 新春号

令和2年 1月1日

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL http://midori.jpn.org/ E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL http://www.syoujukai.org/ E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編集：季刊誌編集委員会

謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和2年 子



中村記念クリニック 院長 高橋 輝子



医療法人 みどり会 社会福祉法人 松樹会 理事 中村 敏子



医療法人 みどり会 社会福祉法人 松樹会 理事長・名誉院長 中村 猛



中村病院 院長 高橋 輝



なごみの里 施設長 武村 次郎

新春号御挨拶

理事長 中村 猛

皆様、新年あけましておめでとうございます。

御家族ともども、明るく元気な良きお正月を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年、平成から令和に元号が変わり、世界の、日本の、私達の地域の政治・経済・文化教育、それに医療福祉分野など世の移り変わりが次第に加速している感じがします。

IT化の進歩によるすさまじい情報の氾濫の中、私達は自身の家族の、友の、組織のゆるぎなき信頼・安定を求めて動き回っている現状です。

何んとか目先の事でなく、遠くはるか彼方の幸せを求め、ゆるぎなき軸をもちたいものです。しかし、カールブッセの幸せの源泉は山の彼方でなく、自分の膝元にありと言っています。

とどのつまり私達の幸せはやはり身のまわりの方々との信頼と友情の輪をより深くより広く広げることにあると思います。

なかなか時間のルールを未来へ向かって心も体も健康で走って行くのは並大抵ではありません。しかし仲間の

中の自分を大切に相手を思いやり、その恩返し的心をもってすれば、自然に幸福の鳥が飛んでくると思います。

今年も私達両法人のスタッフは一丸となって医療福祉分野の業務を天から与えてくれた貴い奉職として頑張ればと思っております。

かわりませぬ御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

山のあなた <カール・ブッセ (上田敏 訳)>

- 山のあなた^{※1}の 空遠く (※1 山の彼方 山の向こう側)
- 「幸」住む^{※2}と 人のいふ (※2 幸福な場所 理想郷がある)
- 噫われひとと 尋めゆきて^{※3} (※3 探しに行って)
- 涙さしぐみ^{※4} かへりきぬ (※4 涙ぐんで)
- 山のあなたに なほ遠く
- 「幸」住むと 人のいふ



年頭のご挨拶

院長 高橋 輝



令和も2年目を迎え、当院も新築移転後7年が経ちました。昨年は増改築も完成し、外来診察室やリハビリ室の拡充、回復期病棟の増床、健診センターの運用開始など病院機能を刷新致しました。設備面だけでなく、日本医療機能評価機構の更新審査も受審し、運用面での改善にも取り組んでおります。一方で病院の運営環境はますます厳しいものがあります。皆さんの診察代に消費税は非課税ですが、医薬品や医療機器、

給食の食材料費、水光熱費等には消費税がかかるため、全て病院側の負担増になっています。また、働き方改革により、夜診や土曜日の診療体制維持のため、職員が残業で対応することが難しくなっており、昨今の人手不足もあり人員増も簡単ではありません。そのような中でも、充実した病院環境を整備し、地域の皆様に求められる医療を提供しようと、職員一同努力を重ねております。至らないところもございますが、皆さんからの温かいお声掛けが職員の励みになります。地域の皆さんとともに病院も成長して参りますので、本年もご支援よろしくお願いいたします。

中村記念クリニック・みどりの館

年頭のご挨拶

中村記念クリニック 院長 高橋 輝子



新年明けましておめでとうございます。平成から令和への改元が行われた2019年、皆様はどのような1年をお過ごしになられましたか？ 嬉しいことや悲しいこと、楽しいことや辛いこと様々なことがあったと思いますが、今年もこうして、みどりの風を手にとって頂き、紙面ですがご挨拶できることを嬉しく思います。さて、2020年・令和2年を迎え、いわゆる団塊の世代が全員、後期高齢者になる2025年に向かい、多くの訪問診療患者様を診療させていただいているクリニックとして

はどのような取り組みをしていけばいいのかが日々考えています。慢性期医療が中心となる超高齢化社会では在宅医療の拡充が重要となりますが、この在宅医療は困った時に診てもらえる連携先の病院があるからこそ成り立つと、日々の訪問診療で感じています。これから先、医療の現場でも認知症の患者様の受診や急性期病棟への入院もさらに増えると思います。認知症の患者様の尊厳を守り、安心して治療が受けられるような取り組みや在宅への移行もクリニックの大きな使命だと考え、連携病院の中村病院と協力して安心した医療を提供していきたいと願っています。

年頭所感

みどりの館 施設長 石脇 真



謹んで新年の喜びを申し上げます。旧年中は皆様に見守られ「みどりの館」も私自身も無事に過ごすことが出来ました。ありがとうございました。昨年は上司に影響され、登山をすることにしました。とりえず日本の百名山を制覇することにしました。近くの山、登頂しやすい山から制覇していきまして、はじめは順調に登頂していきまして、一定数を超えると数をこなせなくなりました。雪が積もっていたり、難易度の高い山しか残ってなかったり。数をこなすごとに技術は向上しますが、

自分の技術の限界も感じます。その結果、難しい山は残ったままになります。自然は厳しいですから。ふと感じました。仕事でも。長く働いているうちに。自分の周りで。自分の力で解決できる業務は解決しましたが、今、横たわっている仕事は自分の能力ではどうしようもない事ばかりではないかと。歳を重ねるごとに自分の能力の限界も実感してしまいますし。こんなことを感じながら新年を迎えています。一応、打開策を考えてみました。百名山制覇の為に、経験者からの助言。体力、技術力の向上でなんとかなりそうです。仕事も、経験者からの助言。自分自身の成長で乗り切れるのか？ 今年も皆様の意見、助言を大切に百名山の登頂と仕事を頑張ります。本年もよろしくお願いいたします。

在宅支援

年頭所感

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏



あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。高齢社会・人口減少を乗り切るために、枚方市においての「地域共生社会」を支援する側・支援を受ける側という関係性を超えて、地域の皆様といかに創り上げていくかが待ったなしです。

またこれからは医療・介護分野だけでなく、さまざまな産業などの領域を超えてつながり、地域社会を支えていくことが、より重要となってきています。高齢者福祉の第一線の一つである包括に身を置きながら、本年もより一層尽力する所存です。本年も引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



年頭のご挨拶

施設長 武村 次郎



謹んで新春のお喜びを申し上げます。昨年は、なごみの里・サテライトなごみの里をはじめ各事業所をご利用いただきまして誠にありがとうございました。本年も職員一同、安心・安全をモットーに業務に努めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。昨年5月から令和という新年号に変わり新たな時代になった矢先に台風19号が東日本に猛威を振るい大きな被害がでました。被災されました皆様においては謹んでお見舞い申し上げます。なごみの里においても一昨年に台風・地震と屋上に設置している貯水槽の破損など大きな被害にあい、ご利用者への入浴を一時中止することになり大変ご迷惑をおかけいたしました。

人的被害が無かったことが不幸中の幸いと思っております。今後もこのような天災はいつ何時来るかわかりません。施設として異常気象等への対策を考えなおし、被害を最小限に防ぐことを本年も引き続き強化してまいります。介護関連では、毎年言われている老々介護の世帯も増え、重度化への介護、在宅復帰への介護、様々なプランをご利用者に合った形で対応できるよう看護・介護・リハほか各部署が協力強化し医療的問題がある場合には迅速に協力病院との連携を図ってまいります。いずれにしても、ご利用者が心地よくお過ごしされ、ご家族が安心できる施設にすることが本年も一番の目標としております。そこには各職員のスキルアップが必須条件であり各種研修にも積極的に参加をさせてまいります。本年も昨年同様にご支援、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

新年のご挨拶

なごみの里

事務長 原田 陽造



あけましておめでとうございます。本年も昨年同様、お引き立てのほどをお願い申し上げます。なごみの里も開設20年を過ぎご利用者をはじめとする皆様に支えられながら運営してまいりましたが、施設の老朽化がみられ、ご利用者にもご不便をおかけしたと存じます。本年も予期せぬ天災にもスピーディーな対応と安全を確保し、生活しやすい環境づくりに努めてまいり、その上で安心できる介護・医療業務に従事していくことが私共の使命だと考えております。本年も皆様からのご支援を頂戴し運営してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

ケアプランセンターなごみ

所長 佐藤 嘉枝



新年あけましておめでとうございます。今年は「庚子（かのえ・ね）」。物事の終わりと始まりの年なのだそうです。「お・も・て・な・し」で始まったオリンピックフィーバーも今夏がクライマックス。そして、新しいヒーロー・ヒロイン達の時代の始まりでもあります。「55年前の東京五輪も見ていたよ」と言われる方も、まだ生まれていなかった方も。世代を超えて同じ思いを分かち合える、素晴らしい年となることを願っております。

グループホームたんぼぼ長尾

管理者代理 西 恵美



新年あけましておめでとうございます。旧年中はお世話になり有難うございました。グループホームたんぼぼ長尾は地域密着型施設として、月に1回地域のボランティアの皆様を招き、様々なイベントを開催しており、入居者様と地域の皆様が交流できる場を設けております。今年度も継続し、地域に馴染んだ施設づくりを目指し、入居者様が慣れ親しんだ地域で安心して生きがいのある生活を送っていただけるよう職員一同努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

訪問介護ステーションみどり

所長 中井 正人



あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年は、台風の影響が全国各地で見られました。台風接近時は、私たちの訪問介護サービスも調整せざるを得なくなり、ご利用者の皆様にはご迷惑をおかけしました。私たちができうる災害対策のひとつとして、備蓄品の準備をお声掛けしていきまして、取り越し苦労に終わることが多かったです。一昨年の反省、経験を活かすことができました。今年も私たちは、ご利用者の在宅生活が継続できるよう、関係各機関と連携を図りながら、ヘルパーならではの気づきに重点を置いて活動していきたいと考えています。本年も、スタッフ一同よろしくお願いいたします。

通所リハビリテーション

センター長 林 千妃呂



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、通所職員の退職があり皆様方にはご心配をお掛けいたしました。新しい職員も迎え、新しいチームで皆様により安心してご利用いただけるように、また、「その人らしく」ご自宅(地域)での生活が継続できるように努めて参ります。近年ご利用者の若年化もみられ、子育てや就労、親の介護等を同時に行っているご家庭も増えてきています。多様化するニーズにも柔軟に対応が出来るように、皆様に寄り添い共に一年を歩んでいきたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

